

# 総務文教常任委員会資料

令和2年8月12日

教育委員会

教育振興部教育総務課

こども未来部学校教育課

# 目 次

市立小中学校における新型コロナウイルス感染症対策及び 学習保障と状況について・・・・・・・・・・・・・・・・	1～3
感染症予防対策のための物品購入一覧・・・・・・・・	4
学習保障対策のための人員配置一覧・・・・・・・・	5

## 市立小中学校における新型コロナウイルス感染症対策及び学習保障と状況について

### 1 学校再開に対応した人的・物的支援

#### (1) 少人数学習集団の編成支援

小学校6年生と中学校3年生を中心に、非常勤講師（県費負担）の配置を拡大する。

（小学校：2名追加配置、2名時間延長　中学校：2名時間延長）

#### (2) 学習支援員の派遣

児童生徒へのきめ細かな指導を充実させ、学習のつまずきの解消や学習意欲の向上、心の安定を図る。（各校1～2名　週1～3日）

#### (3) スクールサポートスタッフの配置

教師が子供の学びの保障に注力できるように、教師等の業務をサポートする。

（各校1名）

#### (4) 感染症対策の強化

- ・「学校の新しい生活様式」（身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いの徹底、消毒）
- ・登校前の検温・健康チェック（児童生徒・教職員）
- ・オゾン発生器の設置（8月20日以降速やかに設置）
- ・衛生用品を学校へ配布

マスク：児童生徒用（学校・学校給食センターの職員が手作り）

非接触型体温計：各校（規模に応じた本数）

ナイロン手袋：給食配膳時に使用

フェイスシールド：校医、教諭、児童

消毒液：各校（手指消毒用）

### 2 感染予防・臨時休業に伴う学校教育課程の見直し

#### (1) 夏季休業日の短縮

夏季休業日を8/8～8/16、8/29～31とし、授業日を22日間確保する。

#### (2) 学校行事等の中止・縮小・時期や内容の変更

- ・中止：地域への学校オープン、家庭訪問、水泳指導、水泳交歓会  
トライやる・ウィーク（通常の形では実施しない）
- ・縮小：自然学校（2泊3日）
- ・変更：参観日、修学旅行、運動会、音楽会・文化祭、市総合体育大会

### (3) 授業時間数の確保

- ・ 6 / 1 からの通常授業 + 夏季休業日の短縮による授業 → 1, 0 5 9 時間  
学習指導要領規定の 1, 0 1 5 時間の授業時間は確保できる。  
残り 4 4 時間で学校行事等を実施する。
- ・ 学校行事等の内容変更に伴い、事前・事後指導にかかる時間も減少する。

### 3 夏季休業日の短縮に伴う熱中症対策

- ・ 小学生に日傘、中学生にアイスタオルを配布した。(市内在住の全ての小中学生と兵庫教育大学附属小・中学校に通学する市外在住の小中学生を対象)
- ・ 低学年の下校を高学年に合わせて、一斉下校している。
- ・ 教科書等を学校に置くことで、荷物の軽減を図っている。
- ・ 遠距離の低学年児童の熱中症対策のため、下校時にスクールバスを運行している。(集合場所が学校から半径 2 k m 以上にある通学班単位)  
対象児童数 2 9 1 人、バス 1 0 台、タクシー 4 台

### 4 第 2 波に備えて

#### (1) オンライン学習の推進

- ・ タブレット PC 等の整備、家庭の ICT 環境の確認・補充対応 (9 月には整備完了予定)
- ・ G Suite for Education (Google 社が提供するオンライン教育システムサービス) を活用したオンライン授業、オンラインクラスルーム実施に向けた教職員研修の実施と各校での取組の推進
- ・ タブレットドリル等、個別学習ソフトの活用
- ・ ICT 支援員の派遣 (1 0 月～)

#### (2) 地域の感染レベルに応じた対応

- ・ 地域の感染レベル (レベル 1 ~ 3) は、地域のまん延状況や医療提供体制等の状況を踏まえ、教育委員会が地方自治体の衛生主管部局、首長と協議の上、判断する。

地域 = 児童生徒及び教職員等の生活圏 (主に児童生徒の通学圏や発達段階に応じた日常的な行動範囲。地域の実情に応じて、保護者の通勤圏や教職員の居住地の状況も考慮)

参考 : 『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル ~ 「学校の新しい生活様式」 ~ 』 (2020. 6. 16 Ver. 2)

### (3) 臨時休業の実施

- ・児童生徒や教職員に感染者が発生した場合、感染経路、濃厚接触者が加東健康福祉事務所により特定され、校内の消毒ができるまでの間、当該校を臨時休業とする。
- ・その後の対応については、加東健康福祉事務所と、感染者の学校内における活動状況、接触者の多寡、地域における感染拡大の状況、感染経路の明否等を確認しつつ、これらの状況を総合的に考慮し、臨時休業の必要性について十分相談の上、実施の有無、規模及び期間について教育委員会が判断する。
- ・臨時休業を実施する場合、県の緊急事態措置等を前提としつつも、地域の感染拡大の状況を把握し、児童生徒の学びを保障する観点から、市としてきめ細やかに対応する。

### 感染症予防対策のための物品購入一覧表

	品名	用途	小学校	中学校	合計	備考
	<b>検診・検温・健康チェック関係</b>					
1	非接触型体温計	児童生徒の検温	42 本	16 本	58 本	
2	ゴム手袋	内科検診用(医師用)	1,581 枚	919 枚	2,500 枚	
3	ゴム手袋	耳鼻科検診用(医師用)	24 枚	16 枚	40 枚	
4	指サック(発注予定)	眼科検診用(医師用)	596 枚	308 枚	904 枚	検診は2学期以降
5	フェイスシールド	健康診断用(医師用)	36 枚	12 枚	48 枚	
6	フェイスシールド	配膳用(教諭用)	179 枚	75 枚	254 枚	
	<b>学校再開に伴う感染拡防止対策関係</b>					
7	オゾン発生器	教室・保健室・職員室に設置	119 台	41 台	160 台	
8	消毒液(ポンプ式)	アルコール(手指消毒用)	18 本	6 本	24 本	
9	アルミシート	保健室ベッド用	24 枚	15 枚	39 枚	
10	フェイスシールド	児童生徒用 2枚/人	3,726 枚	1,836 枚	5,562 枚	
11	塩素系漂白剤	体育館用	9 本	3 本	12 本	体育館の利用者に対して、施設利用後に消毒を行ってもらうため
12	バケツ	9L ブルー・グレー	18 個	6 個	24 個	
13	ペーパータオル	200枚/パック	20 パック	6 パック	26 パック	
14	手袋	消毒用	10 箱	3 箱	13 箱	
15	防護服(ガウン)	10枚/袋	18 袋	9 袋	27 袋	学校で発生した場合看病する教諭が使用する
16	マスク(手作り)	小学生1枚/人 中学生2枚/人	1,863 枚	1,836 枚	3,699 枚	手作りマスク
17	マスク(寄附)	小学生3枚/人 中学生3枚/人	5,571 枚	2,757 枚	8,328 枚	北播磨広域定住自立圏の取組
18	ポリエチレン手袋	給食時に使用	97 箱	34 箱	131 箱	学校給食再開に伴う給食配食時の感染防止対策として、手袋、ポリ袋を各学校に配布
19	ポリ袋	給食時に使用	3,320 枚	1,080 枚	4,400 枚	
	<b>熱中症対策関係</b>					
20	スポットクーラー	体育館で使用	17 台	8 台	25 台	
21	日傘	(市内公立)	1,863 本	0 本	1,863 本	
	合計 2,372本	(兵教大附属)	488 本	0 本	488 本	
		(市外市立)	6 本	0 本	6 本	
		(市外私立)	2 本	0 本	2 本	
		(特別支援学校)	13 本	0 本	13 本	
22	アイスタオル	(市内公立)	0 枚	918 枚	918 枚	
	合計 1,216枚	(兵教大附属)	0 枚	280 枚	280 枚	
		(市外市立)	0 枚	3 枚	3 枚	
		(市外私立)	0 枚	7 枚	7 枚	
		(特別支援学校)	0 枚	8 枚	8 枚	

学習保障対策に係る人員配置一覧

(単位千円)

	目的	業務	人数・勤務条件	当初予算	補正後
学習チューター 【一部を残し、学習支援員に変更】	・児童生徒へのきめ細かな指導を充実させ、学習上のつまずきの解消や学習意欲の向上を図る。 ・教員志望者の資質・能力の向上を図る。	学校の実情に応じて活動 ・学習相談（放課後・休憩時間） ・図書を紹介や読み聞かせ ・実習や実験の補助 ・実技指導（体育）、技能指導（図工・美術）等の補助 ・外国人児童生徒の日本語指導 ・体験活動での安全確保 等	各校1～4名 1回2～4時間 謝礼：1回1,500円  R1実績 43名 568回	975	248 △727
放課後学習指導員	放課後に補充学習を実施し、児童生徒の学習機会の充実や基礎学力の定着を図る。	週に1回程度、放課後学習室を設置し、児童生徒の自主的な学習を支援	各校1名 年間25回×1時間 謝礼：2,500円/時	875 (県委託)	875★ (県委託)
加東スタディライフ指導員	長期休業中に、児童生徒の自主的な学習をサポートする。	長期休業中の課題や各自で取り組みたい課題に取り組む児童生徒の学習支援	各校1名 補助員数名 長期休業中5日間 ×2時間（小） 3時間（中） 謝礼：2,500円/時	673	673★ (小学校未実施分380含)
学習支援員 【新規：コロナ対策】	児童生徒へのきめ細かな指導を一層充実させ、学習上のつまずきの解消や学習意欲の向上を図るとともに、児童生徒の心の安定を図る。	学校の実情に応じて活動 ※学習チューター業務に加えて ・授業中、学習のつまずきが見られる児童生徒を支援 ・児童生徒の心の安定を図るための教職員の指導の補助 ・給食指導や清掃指導の補助 等	各校1～2名 総派遣時間（予定） 4,128時間 謝礼：1,500円/時 1,200円/時 1,000円/時		4,698★ 137(保険)
スクールサポートスタッフ 【追加配置】	教員の担う業務を分担することで、教員が本来業務に集中し、児童生徒と向き合う時間を確保する。	・授業準備（印刷等） ・外部対応（電話・来訪者等） ・会議準備 【追加：コロナ対策】 ・換気や消毒等の感染症対策 ・子供の健康観察のとりまとめ ・家庭との連絡資料の準備 ・分散登校等の登校支援	各校1名 (1校：東条東小は県費) 当初4校（東条西小・3中）配置 残り7校に追加配置  週20時間以内×35週 謝礼：960円 ～1,150円/時		9,089☆ 人事課分 △3,001

★学習指導員派遣事業（国1/3、県2/3補助事業）対象

☆スクール・サポート・スタッフ配置事業（国1/3、県2/3補助事業）対象